



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月31日

上場会社名 ヒロセ電機株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6806 URL http://www.hirose.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)石井 和徳  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理本部副本部長 (氏名)福本 広志 (TEL)03(3491)5300  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	30,954	4.2	8,314	2.7	8,582	△1.5	5,232	△3.2
26年3月期第1四半期	29,715	28.7	8,094	49.3	8,713	51.3	5,404	59.7

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 5,880百万円(△24.2%) 26年3月期第1四半期 7,753百万円(385.2%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
27年3月期第1四半期	153.40		153.39	
26年3月期第1四半期	156.59		156.56	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
27年3月期第1四半期	301,751		271,324		89.6	
26年3月期	300,751		269,164		89.2	

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期270,423百万円 26年3月期268,296百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
26年3月期	—	90.00	—	110.00	200.00
27年3月期	—				
27年3月期(予想)		115.00	—	115.00	230.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	65,000	5.4	18,000	3.1	18,500	1.3	11,700	0.8	円 銭
通期	130,000	4.0	36,000	9.1	37,000	6.5	24,000	7.0	343.00
									703.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	40,020,736株	26年3月期	40,020,736株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	5,909,655株	26年3月期	5,910,865株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	34,109,962株	26年3月期1Q	34,517,309株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成26年8月1日（金）に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税の影響は概ね限定的で経済政策及び金融政策の効果の発現もあり、緩やかに回復基調で推移して参りました。

このような状況下当社グループは、主にスマートフォン市場向け、自動車市場向け及び産業用機器市場向けのグローバル事業拡大を進めると共に高度化する市場ニーズへの更なる迅速な対応を目指し、高付加価値新製品の開発・販売・生産体制の強化を推進して参りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は309億5千4百万円（前年同期比4.2%の増）、営業利益は83億1千4百万円（同2.7%の増）、経常利益は85億8千2百万円（同1.5%の減）、四半期純利益は52億3千2百万円（同3.2%の減）となりました。

また、報告セグメントごとの業績を示しますと、次の通りであります。

#### [多極コネクタ]

当社の主力製品群であります多極コネクタは、丸形コネクタ、角形コネクタ、リボンケーブル用コネクタ、プリント基板用コネクタ、FPC(フレキシブル基板)用コネクタ、ナイロンコネクタ等多品種にわたります。

主としてスマートフォン、タブレットPC、通信機器、カーエレクトロニクス等の分野から計測・制御機器、FA機器及び医療機器などの産業用機器等の分野まで幅広く使用されているコネクタであり、今後の更なる高度情報通信ネットワーク化社会及び環境を考慮した省エネ化社会の進展とともに需要の拡大が見込まれております。

当第1四半期連結累計期間は、韓国スマートフォン市場向けビジネスは低迷したものの中国スマートフォン市場向けや自動車市場向け及び産業用機器市場向けの受注・売上が堅調に推移し、売上高は252億2千2百万円（前年同期比6.1%の増）、営業利益は74億1千4百万円（前年同期比14.1%の増）となりました。

#### [同軸コネクタ]

同軸コネクタは、マイクロ波のような高周波信号を接続する特殊な高性能コネクタであり、主にマイクロ波通信機、衛星通信装置、電子計測器、またはスマートフォン及び伝送・交換装置等に使用されるコネクタであります。なお、光コネクタ、同軸スイッチもこの中に含んでおります。

当第1四半期連結累計期間は、売上高は37億8千8百万円（前年同期比18.1%の減）、営業利益は9億1千7百万円（前年同期比39.1%の減）となりました。

#### [その他]

以上のコネクタ製品以外の製品として干渉波EMS等の電子医療機器、マイクロスイッチ類及びコネクタ用治工具類を一括しております。

当第1四半期連結累計期間は、売上高は19億4千3百万円（前年同期比46.7%の増）、営業損失は1千7百万円（前年同期は営業利益8千7百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は、有形固定資産の増加などにより、前連結会計年度に比べ10億円増加して3,017億5千1百万円となりました。負債は未払法人税等の減少などにより、11億5千9百万円減少して304億2千6百万円となりました。また、純資産は、利益剰余金の増加などにより21億5千9百万円増加して2,713億2千4百万円となりました。この結果、自己資本比率は89.6%となり、前連結会計年度末と比べ0.4%増加しました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績につきましては、平成26年5月8日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間ごとに設定された複数の割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

なお、この変更による四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	126,239	127,144
受取手形及び売掛金	29,473	29,663
有価証券	30,324	28,750
商品及び製品	4,212	4,454
仕掛品	2,819	2,750
原材料及び貯蔵品	1,365	1,417
未収入金	3,078	2,515
その他	3,511	3,839
貸倒引当金	△95	△83
流動資産合計	200,930	200,452
固定資産		
有形固定資産	31,697	33,867
無形固定資産	1,345	1,308
投資その他の資産		
投資有価証券	62,013	62,407
退職給付に係る資産	269	336
その他	4,576	3,457
貸倒引当金	△80	△77
投資その他の資産合計	66,777	66,123
固定資産合計	99,820	101,299
資産合計	300,751	301,751

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,375	12,027
未払法人税等	7,836	4,357
賞与引当金	1,575	1,074
役員賞与引当金	169	156
その他	5,073	6,987
流動負債合計	26,031	24,603
固定負債		
退職給付に係る負債	213	304
その他	5,341	5,518
固定負債合計	5,554	5,823
負債合計	31,586	30,426
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,404	9,404
資本剰余金	14,441	14,445
利益剰余金	295,725	297,246
自己株式	△61,766	△61,754
株主資本合計	257,805	259,342
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,750	4,945
為替換算調整勘定	5,720	6,120
退職給付に係る調整累計額	19	14
その他の包括利益累計額合計	10,490	11,080
新株予約権	63	89
少数株主持分	804	811
純資産合計	269,164	271,324
負債純資産合計	300,751	301,751

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	29,715	30,954
売上原価	16,278	16,869
売上総利益	13,437	14,084
販売費及び一般管理費	5,342	5,770
営業利益	8,094	8,314
営業外収益		
受取利息	182	197
受取配当金	73	94
為替差益	178	—
その他	209	197
営業外収益合計	644	489
営業外費用		
為替差損	—	191
その他	25	29
営業外費用合計	25	220
経常利益	8,713	8,582
特別損失		
固定資産除却損	17	11
特別損失合計	17	11
税金等調整前四半期純利益	8,696	8,571
法人税等	3,233	3,307
少数株主損益調整前四半期純利益	5,462	5,263
少数株主利益	57	31
四半期純利益	5,404	5,232



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,462	5,263
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	802	195
為替換算調整勘定	1,487	426
退職給付に係る調整額	—	△4
その他の包括利益合計	2,290	616
四半期包括利益	7,753	5,880
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,687	5,822
少数株主に係る四半期包括利益	66	58

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	多極コネクタ	同軸コネクタ	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,764	4,625	28,390	1,325	29,715
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	23,764	4,625	28,390	1,325	29,715
セグメント利益(営業利益)	6,498	1,508	8,006	87	8,094

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、干渉波EMS等の電子医療機器、マイクロスイッチ類及びコネクタ用治工具類等を一括しております。

## 2. 地域に関する情報

	日本	海外売上高					連結売上高
		北米	アジア	ヨーロッパ	その他の地域	合計	
I 売上高(百万円)	8,251	1,548	18,027	1,587	300	21,463	29,715
II 連結売上高 に占める割合(%)	27.8	5.2	60.7	5.3	1.0	72.2	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## II 当第1半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	多極コネクタ	同軸コネクタ	計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,222	3,788	29,010	1,943	30,954
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	25,222	3,788	29,010	1,943	30,954
セグメント利益又は損失 (営業利益又は営業損失)	7,414	917	8,332	△17	8,314

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、干渉波EMS等の電子医療機器、マイクロスイッチ類及びコネクタ用治工具類等を一括しております。

## 2. 地域に関する情報

	日本	海外売上高					連結売上高
		北米	アジア	ヨーロッパ	その他の地域	合計	
I 売上高(百万円)	9,084	1,631	17,992	1,771	474	21,870	30,954
II 連結売上高 に占める割合(%)	29.3	5.3	58.1	5.7	1.6	70.7	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。